

(使用状態の図)

HMS-30AL は折り畳み式の簡易自転車整備スタンドで、サドルノーズを上側のバーに掛けて吊るす形で自転車を保持することで、両手を使った整備作業が簡単に行なえます。バーも脚も工具なしで展開・折り畳みができるので、持ち運びや収納に便利です。

本体サイズや重量の関係でロードバイク・クロスバイク・クロカン MTB などの**軽量な自転車専用**となります。重量のある DH バイクや電動アシスト車、または全長が短い BMX や小径車などには適していません。

本商品の保証期間は**ご購入後 1 年間**です。その間に生じた弊社での設計・製造工程における瑕疵が原因となる不具合に対して、部品または商品交換あるいは無償修理を承ります。

ただし一般的な消耗品や予期される経年劣化によるもの、あるいは誤った使用における破損や不具合については保証の対象外となります。

詳しくは商品に添付の「製品保証規定」カードをご一読ください。最新の情報については弊社ウェブサイトをご参照ください。



注意していただきたいこと

- 一般的なスポーツ自転車用です。全長が極端に長かったり短かったり、前後で重量バランスが大きく異なるもの、極端に重い自転車では安全に使用できない恐れがあります。
- 安定して掛けるため、サドルおよびシートポストからはあらかじめバッグやテールライトなどを取り外してからお使いください。エアロ形状のシートポストではバーへの掛かりが浅く、しっかりと保持されない場合もあります。
- 上バーおよび脚は、必ずパチンと固定ピンが正しく孔に入り力を加えても戻らないことを確認してから、お使いください。
- 前輪を取り外した状態での使用は自転車が不安定になるため行なわないでください。
- スタンドの接地は形状的に三角形となりますので、斜め後方へ押す力を加えると転倒してしまう恐れがあります。
- ボトムブラケットを締め付けるなど大きな荷重を与える作業をする場合は、必ず自転車をスタンドから下ろし、床の上で行なってください。スタンド上で行なえるのは軽度な作業のみです。
- 折りたたむ際に手指などを挟まないように注意してください。
- 目的用途外の使用および正しく使用されていない状態における事故や破損によるトラブルに関しては、弊社はその責を負いません。

問い合わせ先

もし何かわからないことがあった場合は、まずお買い求めになった**販売店**にお問い合わせください。もしそこで十分な情報やサービスを受けられない場合に限り、下記までお問い合わせください。

MINOURN

株式会社 箕浦

〒 503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1

Phone: (0584) 27-3131 / Fax: (0584) 27-7505

Mail: minoura@minoura.jp (営業部)

infodesk@minoura.jp (カスタマーサービス)

Web: www.minoura.jp

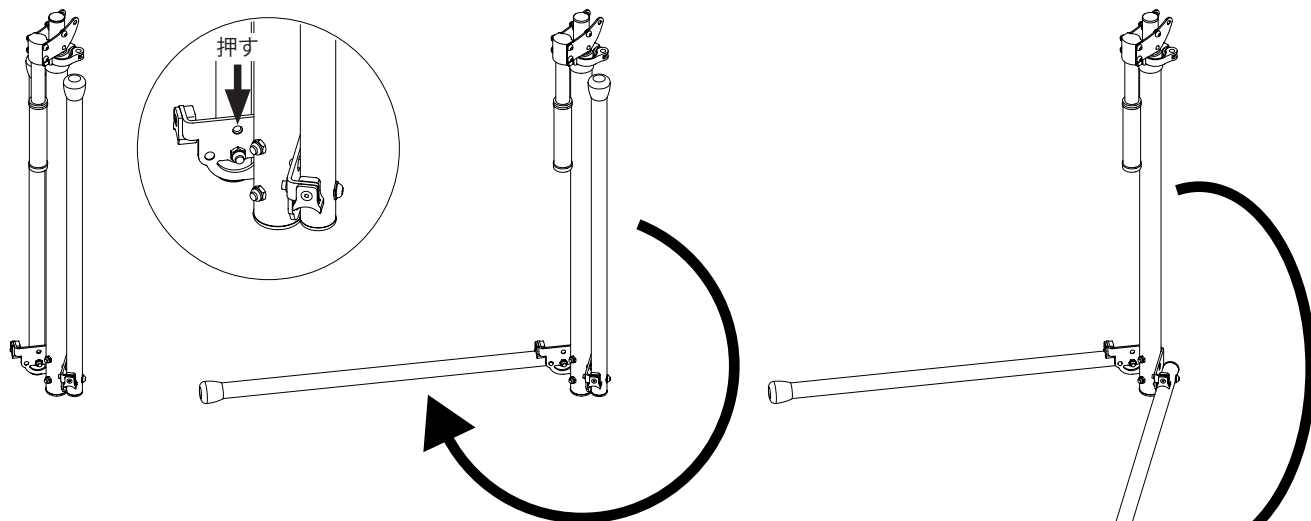
日本製

組み立て方

必要な工具： ありません

1 脚を伸ばす。

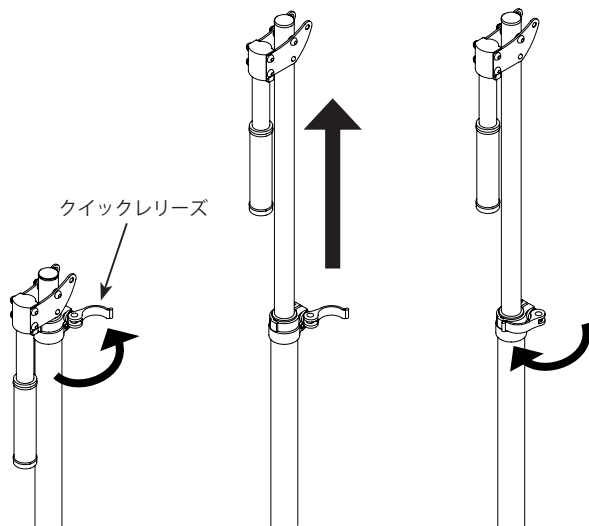
脚を支柱に沿って折りたたんだ状態で保持しているボタンを押しながら、脚を後方に回して広げます。3/4 回転まわしたら、再び脚がボタンで保持されるパチンという音が聞こえるのを確認して、脚が動かないことを確かめてください。反対側の脚も同じようにして広げてから、床の上に置きます。



固定位置で正しくボタンが孔に入り固定されている状態でないと、荷重がかかった際に予期せず脚が動いて転倒してしまうことになります。必ずきちんと保持されたパチンという音を確認してからお使いください。

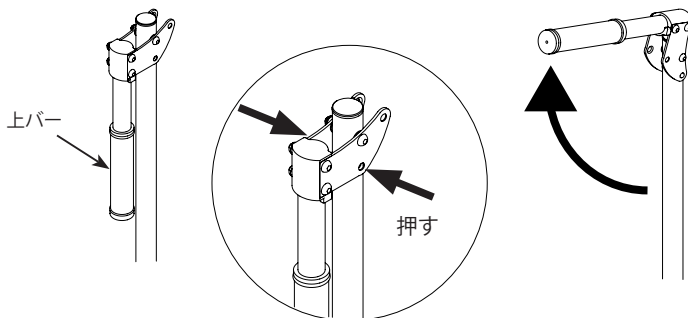
2 支柱を伸ばす。

支柱の中間にあるクイックリリースを緩め、上支柱を引き伸ばします。好みの高さになったら、再びクイックリリースを締めて上支柱を固定します。



3 上バーを展開する。

支柱に沿って折りたたんだ上バーを、保持しているボタンを両側とも押しながら前方に開きます。直角より少し大きく開いたところで再びもうひとつのボタンで上バーは保持されますので、そのパチンという音を確認してください。



上バーは意図的に直角よりも大きく開いたところで止まるよう設計されています。これは、上バーに自転車が乗り荷重がかかると支柱全体がたわんでくるため、その際に上バーが水平よりも前下がりになり、サドルが上バーからずり落ちてくるのを防ぐためです。

使い方

サドルのノーズ部分（シートポストよりも前の方）のサドルレールを上バーに静かに置きます。自転車は重量バランスのせいで前輪が重みで下がります。前輪を床に着けてください。これで安定して自転車は保持されます。



前輪が取り外されている状態では、自転車が後ろ下がりになってしまうため使用できません。後輪が外されている場合は、前輪が床に着いている限りはそのまま使えます。